

令和4年度
保護林モニタリング調査
報告書
(要約版)

令和5年3月

四国森林管理局
株式会社組合立森林研究所

剣山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	四国森林管理局・徳島森林管理署
所在地	徳島県三好市
面積	446.02ha（保存地区 397.34ha、保全利用地区 48.68ha）
設定年	平成 25 年 4 月
保護林の概要 (設定目的)	標高約 1,050~1,955m に位置し、冷温帯から亜寒帯までの林相の垂直分布を見ることができます。 シコクシラベ、ダケカンバ、ブナ、ミズナラ等の多様な樹種が生育し、稜線部はミヤマクマザサの草地となっています。 また、ツキノワグマの生息が確認されています。



モニタリング調査概要

実施年度	令和 4 年度
調査項目	森林調査、哺乳類調査、鳥類調査
調査手法	森林調査として、調査プロットを 4 箇所設定し、毎木調査、植生調査及び実生調査を行いました。また、巨木、希少植物の把握と植物種リストの作成、ライン高木調査を行いました。哺乳類調査では、自動撮影カメラ等を設置し出現種等を記録するとともにシカ被害調査、ツキノワグマ調査、コウモリ調査を行いました。鳥類調査では、ラインセンサスを併用し定点調査を行いました。
結果概要	保護林内全体では、目立って森林の衰退の兆候は見られませんでした。ニホンジカの影響を受けている箇所があるので、モニタリング調査を継続していきます。哺乳類調査では、ヤマネ、ツキノワグマやクロホオヒゲコウモリなどの希少種が確認されました。鳥類調査では特定外来生物のソウシチョウが確認されましたので、今後もその動きを注視していきます。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

鎗戸シコクシラベ（遺伝資源）希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	四国森林管理局・徳島森林管理署
所在地	徳島県那賀町
面積	29.71ha
設定年	平成3年3月
保護林の概要 (設定目的)	標高約1,500~1,930mに位置し、亜寒帯に属しています。 シコクシラベのほか、コメツガ、ゴヨウマツ等が生育しています。 シコクシラベ（徳島県レッドリスト(2015年)の「準絶滅危惧(N1)」)は本州のシラビソの変種であり、日本で最も南に位置する亜寒帯林を構成しています。



モニタリング調査概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林調査、哺乳類調査、鳥類調査
調査手法	森林調査として、調査プロットを4箇所設定し、毎木調査、植生調査及び実生調査を行いました。また、巨木、希少植物の把握と植物種リストの作成、ライン高木調査を行いました。哺乳類調査では、自動撮影カメラ、巣箱を設置し出現種等を記録するとともにシカ被害調査、ツキノワグマ調査を行いました。鳥類調査では、ラインセンサスを併用し定点調査を行いました。
結果概要	保護林内全体では、目立って森林の衰退の兆候は見られませんでした。ニホンジカの影響を受けている箇所があるので、モニタリング調査を継続していきます。哺乳類調査では、希少種のヤマネ、ニホンカモシカが確認されました。鳥類調査ではクマタカなどの希少種と、特定外来生物のソウシチョウが確認されており、今後もその動きを注視していきます。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

石鎚山系森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	四国森林管理局・愛媛森林管理署、嶺北森林管理署
所在地	愛媛県西条市、久万高原町、高知県いの町、仁淀川町
面積	4,244.84ha（保存地区 1,229.48ha、保全利用地区 3,015.36ha）
設定年	平成2年3月
保護林の概要 （設定目的）	標高約700～1,982mに位置し、約1,300mの標高差があり、暖温帯から亜寒帯までの林相の垂直分布を見ることができます。シコクシラベ、ダケカンバ、ブナ、ミズナラ等の多様な樹種とともに、希少な動植物が生育しています。



モニタリング調査概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林調査、哺乳類調査、鳥類調査、昆虫調査、利用動態調査
調査手法	森林調査として、調査プロットを4箇所設定し、毎木調査、植生調査及び実生調査を行いました。また、巨木、希少植物の把握と植物種リストの作成、ライン高木調査を行いました。哺乳類調査では、自動撮影カメラ、巣箱を設置し出現種等を記録するとともにシカ被害調査、コウモリ調査を行いました。鳥類調査では、ラインセンサスを併用し定点調査を行いました。昆虫調査は、プロットへの経路上で見かけた昆虫を記録しました。
結果概要	保護林内の森林全体で森林の衰退の兆候が見られました。特にブナは倒木が目立ち、後継木も少ない状況です。主要高木種の稚樹が5年前に比べさらに減少していました。動物調査では、コウモリ類等の希少種が確認されているため、引き続きモニタリング調査を実施する必要があります。鳥類調査では、ハヤブサなどの希少種と、特定外来生物のソウシチョウが確認されており、今後の動きに注視していきます。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

白髪山天然ヒノキ（遺伝資源）希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	四国森林管理局・嶺北森林管理署
所在地	高知県本山町
面積	208.54ha
設定年	大正4年10月
保護林の概要 (設定目的)	標高約1,130~1,470mに位置し、冷温帯に属しています。山塊の大部分が蛇紋岩からなる特殊な地質で、その上に、ヒノキのほか、ツガ、ゴヨウマツ等の針葉樹が多く生育しています。ヒノキの根がたこ足状に広がった、「根下がりヒノキ」（県指定天然記念物）の巨木が点在する箇所があります。また、南南西側山麓には、ブナ、ヒメシャラ、ケヤキ、トチノキ等の落葉広葉樹林が広がっています。



モニタリング調査概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林調査、哺乳類調査、鳥類調査
調査手法	森林調査として、調査プロットを4箇所設定し、毎木調査、植生調査及び実生調査を行いました。また、根下がりヒノキや巨木、希少植物の把握と植物種リストの作成、ライン高木調査を行いました。哺乳類調査では、自動撮影カメラ等を設置し出現種等を記録するとともにシカ被害調査を行いました。鳥類調査では、ラインセンサスを併用し定点調査を行いました。
結果概要	保護林全体では、目立った森林の衰退等の兆候は見られませんでした。 ヒノキの稚樹はすべてのプロットで確認されていて、天然生ヒノキ林の更新については今後のモニタリング調査を踏まえて検討していきます。特定外来生物のソウシチョウが確認されており、今後の動きに注視していきます。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

